

# 知事記者会見の概要

日 時：令和2年1月8日(水) 10:00～10:22

場 所：記者会見室

出席者：知事、総務部長、秘書課長、広報広聴推進課長

出席記者：13名、テレビカメラ5台

## 1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から2件の発表があった。

その後、代表・フリー質問があり、知事等が答えて閉会した。

## 2 質疑応答の項目

### 発表事項

- (1) 「日本ベトナム文化経済交流事業」への知事参加について
- (2) 山形県立図書館のリニューアルオープンについて

### 代表質問

- (1) 障害者雇用の現状について

### フリー質問

- (1) 発表事項2に関連して
- (2) 東京2020オリンピック聖火リレーについて
- (3) 雪不足による観光面への影響について

<幹事社：朝日・荘内・NHK>

## ☆報告事項

### 知事

皆さん、おはようございます。

昨年の12月23日から29日における県内の定点医療機関からのインフルエンザ患者の報告数が、一定点あたり、警報発令基準の「30」以上となりました。それで本日、インフルエンザ警報を発令したところでございます。

学校などの集団発生の報告も多くなってきております。今後も感染拡大が懸念されますので、県民の皆様には、こまめな手洗いや咳エチケットでのマスク着用など、感染予防に心がけていただきますようお願いいたします。

それでは、恒例となりました、祭りやイベントをご紹介します。

1月10日に、山形市で「初市」が開催されます。江戸時代初期、最上義光（もがみよしあき）公の時代から続く伝統行事でありまして、初あめ、団子木（だんごぎ）などの縁起物や、臼、杵、まな板などの木工品など多くの露店が立ち並びます。また、あわせて丸餅や納豆汁の振舞いも行われます。

それから1月12日には、庄内町で「やや祭り」が開催されます。「やや」というのは赤子とかですね、幼子とかいう意味です。安産と健康を祈願する奇祭として知られ、上半身裸で腰ミノをつけた少年たちが、肩から手桶で何杯も冷水を浴び、集落内を一周した後、神社にお参りするそういうお祭りです。

県民の皆様もぜひお出かけいただき、冬の山形を楽しんでいただければと思います。

では私から発表が2点ございます。

まず1点目ですが、「日本ベトナム文化経済観光交流事業」への参加について、お知らせいたします。

1月11日から14日までの4日間、ベトナム社会主義共和国ダナン市を訪問し、「日本ベトナム文化経済観光交流事業」に、政府関係者、観光及び産業関係団体、自治体関係者などとともに参加してまいります。

今回の参加は、日本側の主催者である全国旅行業協会、会長は二階自民党幹事長です。それから日本旅行業協会、日本観光振興協会、国際観光振興機構、日本経済団体連合会からの要請をお受けしてのものであります。

この交流事業は、ベトナム・ダナン市に日本国領事事務所が開設されることを機に、日本とベトナムの相互交流を促進させることを目的に実施されるものです。日本からは、日越友好議員連盟会長の二階自民党幹事長をはじめ多くの国会議員、それから北海道や新潟県など、本県を含む7道県の知事・副知事、さらには日本旅行業協会の田川会長、日本経済団体連合会日本ベトナム経済委員会の市川委員長、この方は昭和電工会長ですね、など、政財界のトップの方々約1,000名が参加する予定です。

私は、1月12日から日本とベトナムとの交流事業に参加し、1月13日の「日本ベトナム観光交流シンポジウム」にパネリストとして参加するとともに、日本側とベトナム側の知事による知事交流会に出席いたします。

また本県独自の用務として、ベトナムに進出している県内企業の関係者やベトナム在住の山形県ゆかりの方々と、意見交換を行うこととしております。

ベトナムには、県内企業が14社進出しております。また、本県に在住するベトナムの方々は、令和元年、昨年ですね、6月末現在で1,432人と、県内の外国人数では中国、韓国に次いで3番目に多くなっております。中でも技能実習生は1,257人で最多となっております。ベトナムは、本県とのつながりが深い国であり、経済、観光、人材などの面で、今後ますますの交流拡大が期待されるところです。

今回の訪問では、日本側から、政府関係者や経済団体、観光関係団体を代表する方々が参加し、日本とベトナムの相互交流を促進させるとのことであります。ベトナムを含むASEANは山形県国際戦略の中で重点地域にも位置付けているところです。私も本県の魅力を大いにアピールし、ベトナムの方々に強く印象付けるとともに、今回の訪問を機に、今後の本県とベトナムとの交流をなお一層促進してまいりたいと考えております。

2点目は、県立図書館のリニューアルオープンについて申し上げます。

山形市緑町の遊学館の中にある山形県立図書館は、令和2年2月1日土曜日にリニューアルオープンいたします。

図書館エリアを拡大しまして、ご覧いただける本の配架可能冊数をこれまでの約2倍、それから座席数を約3倍に拡充しますとともに、「子どもエリア」を充実します。小さい子どもさんを連れて行って読み聞かせできる、そういうお部屋も作りました。それから、第2、第4月曜日を開館するなど、ハード、ソフト両面から機能を拡充しております。

2月1日、2日の2日間はオープニングイベントとして、ロバート・キャンベル氏やJAXA宇宙飛行士の大西卓哉氏による記念講演、そして角田宇宙センター所長の吉田誠氏によるスペシャルトークのほか、読育フェスティバル、企画展など、さまざまな催し物を開催いたします。

ぜひこの機会に山形県立図書館に足をお運びいただきたいと思います。

私からは以上です。

#### ☆代表質問

##### 記者

幹事社のNHKの後藤と申します。よろしくお願いたします。

以前、中央省庁とかですね、各自治体のほうで、障がい者の雇用に関する水増しがあった件で、県のほうでも積極的に採用を進められてきたと思うのですが、法定雇用率の達成がずっとなかった中で、去年10月、労働局のまとめで、県と警察本部のほうはすでに法定雇用率を達成ということで、現状、県教育委員会のほうがまだ法定雇用率を未達成

ということなのですが、その辺の現状の受止めについて改めてお聞かせください。

知事

はい。まずですね、知事部局等、これは企業局及び病院事業局を含んでおります、についてでありますけれども、法定雇用率の達成に向けて、障がい者の採用を積極的に進めてきました結果、昨年 10 月 1 日現在で、障害者雇用率は 2.65%となりました。法定雇用率 2.5%を達成いたしました。これはですね、平成 30 年 11 月時点で厚生労働省に提出した採用計画の中で、令和元年 12 月末まで達成という計画でございましたので、それを前倒ししたところでございます。

一方、教育委員会における障がい者雇用につきましては、直接の所管は教育委員会となりますが、教職員の大量退職時代を迎え、障がいのある職員の退職も多かったことから、法定雇用率を達成していないものの、引続き非常勤職員の障がい者雇用への切換えなどを進めていると聞いておりますので、早期の法定雇用率達成を図っていただきたいと考えております。

次に、障がい者の方の正職員としての採用につきましては、今年度実施した試験でも、5 名の方を最終合格としたところであります。来年度以降も継続して試験を実施して、正職員の採用を進めてまいりたいと考えております。教育委員会での採用ということも聞いてみましたら、今年度の教員採用試験で約 10 名で募集を行い、4 名の方が受験し、1 名の方が合格したということでございます。

それから、職場への定着というのが大事だと思っています。県に採用された障がい者の方の職場への定着につきましては、障がい者の方が安心して働くことのできる職場環境づくりを進めることが極めて重要と考えております。このため、障がい者を有する職員や、当該職員の配属先の職員からの相談に応じる「相談支援員」を計 3 名配置し、障がいの特性に応じた助言・指導など、丁寧な相談対応をおこなっております。

また、全職員を対象とした「障がい者に対する理解促進研修」を昨年 7 月から実施しております。累計 29 回、約 1,000 名が受講したということでもあります。それから、障がい者の方に、県の職場でさまざまな業務を体験していただく「職場実習」も実施しております。この職場実習には、累計 2 名の方が参加されたということでもあります。

今後も、こうしたさまざまな取組みを積極的に推進しながら、障がい者の方々が県の職場に定着し、活躍できる職場環境づくりを進め、障がいのある方も無い方も能力を発揮していただき、共に生き生きと働くことのできる、共生社会の実現に努めてまいります。

記者

ありがとうございます。幹事社からは以上です。

☆フリー質問

記者

日本経済新聞の浅山です。よろしくお願いします。

さっきの図書館のリニューアルの関係で、今回リニューアルということで、規模を拡大したりとかですね、そういったものが中心のようなのですが、今、公立図書館を巡ってはですね、しばらく前から、民間企業に委託してかなり大胆に運営を変えたりとか、あとは、起業、アントレプレナーですね、起業支援の拠点にしたりとかですね、従来の本を貸し出すだけではない多様な機能を持たせるような動きがあるかと思います。

市区町村の図書館と県立図書館という違いもあるとは思いますが、何かもし知事のほうで、今後はもっとこんな面で、中長期的にですね、県立図書館についてもいろんな機能を持たせたいというもしお考えがありましたら。

知事

機能ですか。

記者

ええ。機能であったり、運営面であったり。

知事

そうですね、希望するところでは、やはりより多くの方に利用・活用していただきたいという思いがございました。

ずっと月曜日定休ということでありましたので、月曜日にお休み、例えば山形県内ですと、美容師さんの方々はですね、月曜定休なんですよね。だから図書館に行きたいけど行けないんだというふうなことも聞いておましてね、やはり月曜がお休みで、図書館に行きたいと思っても行けないというような方々がいらっしゃいますので、何曜日がお休みであろうと図書館を利用できるようになるといいなというような思いもありましたので、とりあえず月 2 回の月曜日は開館できるようになったのですけれども、そのように多くの県民の皆さんに活用していただける図書館にしたいというふうに、一つは思っています。

それから小さい子どもが行くとどうしてもにぎやかになって、そこで静かに読書ができにくいとかですね、そんな風潮があったかと思うのですが、ただ、一方で小さい子どもさんに読み聞かせをしたい、家でできるのでしょうけれども、図書館に行けばたくさん本がありますし、そこでお母さん同士の交流もできたらいいなというようなこともあって、「子どもエリア」というようなところを作ってもらいました。子どもの頃から、小さい頃からやはり本に親しんでいただくというようなことが大事かなと思っております。

この 2 点。あと、そうですね、記者さんのおっしゃるその機能というのが、県立図書館なので市町村の図書館との連携というのもすごく大事でありまして、ですからその部分

をしっかりとこれからも継続するということが一つと、あとはたくさんの方々に活用していただくという視点でリニューアルをしたところでもあります。

概略はそういうところですが、特別ほかにもいろいろな機能というところまでは、画期的に全く違う機能というようなどころまではちょっと考えていないと言いますか、まだ視野には入っていないと思います。

記者

共同通信の白神と申します。

聖火リレーのランナーについてお伺いしたかったのですが、山形県さんのほうではまだ聖火リレーのランナーの公表がなされておりませんで、弊社の調べでは北海道と山形県が年末時点でまだ聖火ランナー、2道県が発表になっていないのですが、一応県の発表としては、大会組織委員会のほうからの報告がまだないということで発表できないということだったので、なぜ山形県の発表が遅れているのかということをお伺いできればというふうに思ったのですが。

知事

はい。今、記者さんがおっしゃったその通りの内容を私は聞いているのですが、では担当から答えてもらいます。

観光文化スポーツ部次長

観光文化スポーツ部の斎藤でございます。今お話ありましたように、組織委員会のほうからこちらのほうにまだ連絡がきていないということでございます。その具体的理由については、私どももちょっとわからないというふうなところが正直なところでございます。

記者

毎日新聞の後藤です。知事の後ろにもあります「冬こそ、やまがた。」ということで、山形の観光の売りが雪なのですけど、昨日も雪降りましたが、今日も雨に変わってですね、溶けてしまうというので、スキー場も含めてですね、いろいろ影響が出ていますけれど。天候のことなので県ができることも限られていますが、この先々、もしこれが続けば、イベントも中止になるところもあるでしょうし、何より観光客の客足にも影響が出ると思うのですが、何かそこらの対応とかお考えだったらお話しください。

知事

はい。暖冬の影響で、この冬は全国的に雪が少ない状況が続いております。

県内のスキー場を見てもみると、雪不足のために、まだ営業を開始できなかったり、全面滑走できず規模を縮小して営業している、そういうところが多い状況であります。

一方で、年末年始期間の観光客の入込状況について聞き取りをしましたところでは、立寄施設や温泉地で、そういうところでは、年末年始休みが長かったことや、天候が良かったため観光客が多かったという声もございました。

これから本格的な冬のシーズンを迎えるわけであります。県内では雪に関わるお祭りやイベントなどの開催も予定されています。今後の積雪の状況によりましては、延期なども懸念されるところです。气象台によりますと、この冬は平年よりも気温が高い傾向で、積雪も少ないとのことであります。県としましては、県の観光ポータルサイト「やまがたへの旅」において県内のスキー場の積雪状況を毎日更新しておりますとともに、祭りやイベントの情報発信に努めて、引き続き、誘客を図ってまいりたいと考えております。

県民の皆さんにとって、暮らす分には雪が少ないほうが良いと思うのですが、ただ、やっぱり観光という面で考えますと、適度に降ってもらったほうが良いかなと。あと、夏場の水不足になってしまわないかなという心配もありますので、今後本当にどうなっていくか、大変懸念をしているところでございます。